



※一般質問の内容は議員自身が2月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和4年2月定例会を選択すると視聴できます。



もちづき のりお
望月 則男
(富岳会)

観光、教育又は行政サービスにおけるメタバース※1及びVRゴーグル※2の活用について

問 VRゴーグルでの観光、教育分野または行政サービスにおける活用方法はないか伺う。

部長 防災面では、土砂災害を災害発生前から発生に至るまでの気象状況や現場付近の状況を再現し疑似体験することで避難のタイミング等について体験学習するコンテンツが開発されている。また、実際に物件を訪れなくても、建物や部屋の様子、風景などを確認することができるので、移住定住事業での活用ということも考えられる。まずは情報収集に努め可能性を探る。

教育長 今後、ICT活用推進委員会で検討したり、先進的な実践をしている自治体等の情報を収集したり、前向きに対応していきたい。

問 市長、今、実際にVRゴーグルを体験いた

だご感想を答弁ください。

市長 別の次元に身を置いているようで、非常に興味深く見られる。ちょっと高く位置しているもので気持ち良い。何か宇宙人になったような感じ。現実的にその場へ行けなくても、バーチャルで先に映像として撮っておけば、それをあちこちから来た人に見てもらおうということもできる。例えば、人穴神社の行っていく洞窟、万野風穴や、人穴の三ツ池穴などふだん見られないような状況をこれで見れば、訪れた人は魅力を感じるのではないかと思った。

意見 未来に向けた富士宮市として、どう活用するか先進的に、どんどん、どんどんトライしていただきたいと思う。

※1 ネットワーク上の巨大な三次元の仮想空間全般を表す言葉。
※2 VR (バーチャルリアリティ) の略。360度の視界を得ることができ、空間内に自分がいるかのような錯覚を覚え、視覚的に様々な体験をすることが可能。



むらせ ひとし
村瀬 旬
(至誠)

菩提寺もなく、また跡取りもいない市民のための納骨堂、樹木葬墓地の設置について

問 担当課が他市に視察に行かれたとのことであるが、その内容をお聞かせ願う。

部長 静岡市は納骨堂を平成7年に設置し、永年収蔵可能数は1万7000体。浜松市は平成19年に設置、永年収蔵可能数は6000体。島田市は平成27年に設置し、永年収蔵可能数は3000体。袋井市は樹木葬として、1000区画であった。視察した納骨堂、樹木葬墓地はいずれも納骨時に永代使用料を支払うと管理料は不要になるため、お墓を建てても墓守をする人がいない等の理由で、将来の無縁墓地化の心配を払拭できる。

問 市として、どのくらいの市営墓地の余裕はあるか。

部長 現在市営墓地として使用している朝霧霊

園に1万8500平方メートルの土地がある。

問 市営納骨堂、樹木葬墓地設置の考え方は。

市長 近年少子化問題、核家族化の進展など墓地についても多様化している。新たな供養の形として選択肢の幅を広げるものとする。そのため、今後も市民ニーズや近隣市町の状況、墓地事情等を注視しながら、市営墓地の在り方の情報収集を行い、前向きに取り組んでいきたい。

富士宮市の牛乳のおいしさや共励会の結果を市民に周知することについて

問 関東生乳品質改善共励会において2019者中上位6位に富士宮市の4者が入賞している。担当課はこの事実を把握しているか。また市民にこの事実を周知したほうが良いと思うが。

部長 富士開拓農協及び富士宮市農協より情報提供いただき承知している。このことは、市民としても名誉なことであり、農家にとっても励みになる話題になるため、今後新聞社に取り上げていただき、広報ふじのみやへの掲載をはじめ様々な方法を用いて積極的に周知していく。